

松浦武四郎をはじめとする 北海道と三重県の交流連携に関する合意書

1 趣 旨

平成30年度における北海道命名150年や松浦武四郎生誕200年を機に、北海道と三重県との交流は、松浦武四郎にかかる企画展の巡回展示や新たな旅行商品の開発など今までにない取組が生まれました。また、令和元年には、NHKのドラマ「永遠のニシパ」が放送されるなど、松浦武四郎の功績とともに、北海道と三重県のつながりが再確認されています。

そして、令和元年5月にアイヌ新法が施行され、翌令和2年4月には北海道白老町にウポポイ（民族共生象徴空間）がオープンされるにあたり、北海道と三重県の結びつきを今後も継続していくため、それぞれが松浦武四郎やアイヌにかかる文化関係の交流事業を進めていくことを合意し、今後の取組を確認していきます。

2 交流連携の方向性

北海道と三重県が、松浦武四郎やアイヌ文化などを通じた交流を進めていくにあたっては、次の3つの項目により、それぞれが事業展開していくこととします。

(1) 松浦武四郎を通じた文化振興

- 博物館等における情報発信や学習機会の提供
- 博物館等における協力関係の構築

(2) アイヌ文化の理解促進

- アイヌ文化の情報発信や学習機会の提供
- イベントなどでのPRの展開

(3) 住民による文化交流の促進

- 子どもたちの教育旅行などを通じた交流の促進
- 市町村の友好都市提携などを通じた文化交流の促進

令和2年2月22日

北海道知事

鈴木直道

三重県知事

鈴木英敬